

問題 1

予定損益計算書 (単位：円)		予定貸借対照表 (単位：円)	
売上高 ( )		現金 ( )	借入金 ( )
標準変動売上原価 ( )		製品 ( )	未払利息 ( )
標準変動販売費 ( )		材料 ( )	
標準貢献利益 ( )			
固定費 ( )			
予算営業利益 ( )			
支払利息 ( )			
予算経常利益 ( )			

問題 2

営業利益差異分析表

(1) 売上高差異	<input type="text"/>	円 ( )
販売価格差異	<input type="text"/>	円 ( )
売上高数量差異	<input type="text"/>	円 ( )
(2) 変動売上原価差異	<input type="text"/>	円 ( )
変動売上原価価格差異	<input type="text"/>	円 ( )
変動売上原価数量差異	<input type="text"/>	円 ( )
(3) 変動販売費差異	<input type="text"/>	円 ( )
変動販売費価格差異	<input type="text"/>	円 ( )
変動販売費数量差異	<input type="text"/>	円 ( )
(4) 固定製造間接費差異	<input type="text"/>	円 ( )
(5) 固定販売費差異	<input type="text"/>	円 ( )
(6) 固定一般管理費差異	<input type="text"/>	円 ( )
営業利益差異	<input type="text"/>	円 ( )

(注) ( ) 内には、有利差異であれば「有利」、不利差異であれば「不利」と記入すること。

問題 3

営業利益差異分析表

(1) 販売価格差異	<input type="text"/>	円 ( )
(2) 変動費差異	<input type="text"/>	円 ( )
変動売上原価価格差異	<input type="text"/>	円 ( )
変動販売費価格差異	<input type="text"/>	円 ( )
(3) 貢献利益数量差異	<input type="text"/>	円 ( )
貢献利益差異	<input type="text"/>	円 ( )
(4) 固定費差異	<input type="text"/>	円 ( )
営業利益差異	<input type="text"/>	円 ( )

(注) ( ) 内には、有利差異であれば「F」、不利差異であれば「U」と記入すること。

問題 4

営業利益差異分析表

予算営業利益	<input type="text"/>	千円
販売価格差異	<input type="text"/>	千円 ( )
販売数量差異	<input type="text"/>	千円 ( )
変動費差異	<input type="text"/>	千円 ( )
固定費差異	<input type="text"/>	千円 ( )
実際営業利益	<input type="text"/>	千円

(注) ( ) 内には、有利差異であれば「F」、不利差異であれば「U」を記入しなさい。

問題 5

	市場占拠率差異	市場総需要量差異
問 1	円( )	円( )
問 2	円( )	円( )

(注) 有利差異であれば( )内に「有利」と、不利差異であれば( )内に「不利」と記入すること。

問題 6

問 1

	セールス・ミックス差異	数量差異
製品 R	円	円
製品 W	円	円

問 2

	セールス・ミックス差異	数量差異
製品 R	円	円
製品 W	円	円

問題 7

①		⑥	
②		⑦	
③		⑧	
④		⑨	
⑤		⑩	

問題 8

	腕時計	置時計
セールス・ミックス差異	円( )	円( )
市場占拠率差異	円( )	円( )
市場総需要量差異	円( )	円( )

問題 9

A	B	C	D

問題 10

問 1

製品種類別損益計算書

(単位：千円)

	製品 L	製品 M	製品 N	合計
売上高	(      )	(      )	(      )	(      )
変動売上原価	(      )	(      )	(      )	(      )
変動製造マージン	(      )	(      )	(      )	(      )
変動販売費・一般管理費	(      )	(      )	(      )	(      )
貢献利益	(      )	(      )	(      )	(      )
共通固定費				(      )
営業利益				(      )
貢献利益率	製品 L : (      ) %	製品 M : (      ) %	製品 N : (      ) %	

問 2

製品Mの製造・販売を取りやめた場合、全社的な営業利益が  千円

{ 増加 } するため、取りやめるべきで { ある }。  
{ 減少 } するため、取りやめるべきで { ない }。

(注) { } 内の不要な語句は二重線で消しなさい。

問題 11

問 1

	投下資本利益率	残余利益
X事業部	%	万円
Y事業部	%	万円

問 2

	投下資本利益率	残余利益	経済的付加価値
X事業部	%	万円	万円
Y事業部	%	万円	万円

問題 12

問 1

	事業部別損益計算書			(単位：千円)
	第 1 事業部	第 2 事業部	第 3 事業部	
売上高	( )	( )	( )	
変動費	( )	( )	( )	
貢献利益	( )	( )	( )	
管理可能個別固定費	( )	( )	( )	
管理可能利益	( )	( )	( )	
管理不能個別固定費	( )	( )	( )	
事業部貢献利益	( )	( )	( )	
共通固定費配賦額	( )	( )	( )	
事業部純利益	( )	( )	( )	

問 2     1 位：第  事業部                      2 位：第  事業部                      3 位：第  事業部

問 3     1 位：第  事業部                      2 位：第  事業部                      3 位：第  事業部

問題 13

問 1

追加投資を行った場合、東海事業部の投下資本利益率は{ 増加    減少 }するが、九州事業部の投下資本利益率は{ 増加    減少 }する。したがって、東海事業部では追加投資を { 行い   行わず }、九州事業部では { 行う   行わない } と考えられる。

問 2

追加投資を行った場合、東海事業部の経済的付加価値は  万円増加し、九州事業部の経済的付加価値は  万円増加する。したがって、どちらの事業部も追加投資を行うと考えられる。

(注) { } 内の不要な語句は二重線で消しなさい。また、 内には適切な数値を記入すること。

問題 14

問 1

1	2	3

問 2

①	②	③	④

問題 15

① 埋没原価	円
② 製品Yを採用した場合の機会原価	円
③ 差額原価	円

問題 16

(1)  円

(2) 注文を引き受けた場合、(  円)の差額利益が得られるので、  
注文を[ 引き受ける 引き受けない ]べきである。

(注) (  )内には適切な金額を記入し、{  }内の不要な語句を二重線で消しなさい。

問題 17

問 1

注文を引き受けた方が  円の { 差額利益 / 差額損失 } が出るので、

注文を引き受けるべきで { ある / ない }。

問 2

注文を引き受けた方が  円の { 差額利益 / 差額損失 } が出るので、

注文を引き受けるべきで { ある / ない }。

(注) 不要な語句は二重線で消しなさい。

問題 18

追加加工をすると  円の { 差額利益 / 差額損失 } が出るので、

追加加工を施すべきで { ある / ない }。

(注) 不要な語句は二重線で消しなさい。

問題 19

(1) 連産品 X は追加加工を施すべきで { あり / なく }、  
連産品 Y は追加加工を施すべきで { ある / ない }。

(注) 不要な語句は二重線で消しなさい。

(2) 売上総利益  円

問題 20

{ 内製 / 購入 } する方が原価を  円節約できるので、

{ 内製 / 購入 } すべきである。

(注) 不要な語句は二重線で消しなさい。

問題 21

問 1

部品甲の年間必要量が  本以上であれば、内製すべきである。

問 2

NSリース㈱に支払う年間リース料が  円未満であれば、内製すべきである。

問題 22

経済的発注量  個

問題 23

問 1 製品甲  個 製品乙  個

問 2 製品甲  個 製品乙  個

問 3 営業利益  円

問題 24

製品Aを  個、製品Bを  個生産・販売したときに、  
 営業利益が  円と最大になる。

問題 25

問 1 製品M  円 製品N  円

問 2  円

問 3  時間

問 4  個

問 5 製品M  個 製品N  個

貢献利益  円

問 6  円

問題 26

- 問 1    1 年後     円  
           2 年後     円  
           3 年後     円  
 問 2             円  
 問 3             円

問題 27

- 問 1     %  
 問 2     %

問題 28

- 問 1  
     投資案 A の正味現在価値 :     円  
     投資案 B の正味現在価値 :     円  
 問 2  
     投資案  の方が有利である。

問題 29

- 問 1  
     投資案 A の内部利益率 :     %  
     投資案 B の内部利益率 :     %  
 問 2  
     投資案  の方が有利である。

問題 30

- 問 1     年  
 問 2     年  
 問 3     %

問題 31

- 問1 投資案A：正味現在価値は  千円で、 番目に有利な投資案である。  
 投資案B：正味現在価値は  千円で、 番目に有利な投資案である。  
 投資案C：正味現在価値は  千円で、 番目に有利な投資案である。
- 問2 投資案A：収益性指数は  で、 番目に有利な投資案である。  
 投資案B：収益性指数は  で、 番目に有利な投資案である。  
 投資案C：収益性指数は  で、 番目に有利な投資案である。

問題 32

- 問1 投資案  の方が有利である。  
 問2 投資案  の方が有利である。  
 問3

①	
②	
③	
④	
⑤	

問題 33

{ 設備投資案A } の方が  千円有利である。  
 { 設備投資案B }

(注){ }内の不要な語句は二重線で消すこと。

問題 34

- 問1 加重平均資本コスト率  %  
 問2 正味現在価値  万円  
 内部利益率  %  
 問3 正味現在価値  万円

(注)正味現在価値が0円未満になった場合は、金額の前に△を付すこと。

問題 35

問 1

正味現在価値が  万円であるため、投資 { すべきである / すべきでない }。

問 2

正味現在価値が  万円であるため、投資 { すべきである / すべきでない }。

(注) { }内の不要な語句は二重線で消すこと。また、正味現在価値が負の値になった場合は、金額の前に△を付すこと。

問題 36

問 1

正味現在価値が  万円であるため、投資 { すべきである / すべきでない }。

問 2

正味現在価値が  万円であるため、投資 { すべきである / すべきでない }。

(注) { }内の不要な語句は二重線で消すこと。また、正味現在価値が負の値になった場合は、金額の前に△を付すこと。

問題 37

問 1

(単位：万円)

現在	1 年度	2 年度	3 年度
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

問 2

新規設備に取り替える案の差額正味現在価値が  万円であるため、新規設備に取り替えるべきで { ある / ない }。

問題 38

A 案の差額正味現在価値が  万円であるため、{ A 案 / B 案 }

を採用すべきである。

(注) { }内の不要な語句は二重線で消しなさい。

問題 39

投資案の差額正味現在価値が  万円であるため、{ 取り替えるべきである / 取り替えるべきでない }。

問題 40

問 1  千円

問 2  千円

問 3  千円

(注) キャッシュ・アウト・フローおよび正味現在価値の負の値については、金額の前に△を付すこと。

問題 41

問 1 毎年の製造・販売量が  個以上であれば、採算がとれる。

問 2 毎年の製造・販売量が  個以上であれば、B社製設備にすべきである。

問題 42

A	B	C

問題 43

投資案の正味現在価値は  万円なので、投資 { すべきである  
すべきでない }。

(注) 正味現在価値が負の値になった場合は、金額の前に△を付すこと。また、{ } 内の不要な語句は二重線で消去しなさい。

問題 44

投資案Aの正味現在価値：  万円

投資案Bの正味現在価値：  万円

したがって、{ 投資案A    投資案B } を採用する方が有利である。

(注) 正味現在価値が負の値になった場合は、金額の前に△を付すこと。また、{ } 内の不要な語句は二重線で消去しなさい。

問題 45

予算ライフサイクル収益	千円
予算ライフサイクル・コスト	千円
予算ライフサイクル営業利益	千円

問題 46

問 1

X社製システムのトータル・コストは  円、Y社製システムのトータル・コストは  円であることから、 社製システムを導入した方が経済的である。

問 2

X社製システムのトータル・コストの現在価値は  円、Y社製システムのトータル・コストの現在価値は  円であることから、 社製システムを導入した方が経済的である。

(注)  内には適切な金額または「X」「Y」のいずれかを記入すること。

問題 47

問 1  円

問 2  円

問題 48

	問 1	問 2
A		万円
B		万円
C		万円
D		万円

問題 49

問 1

完成品原価	月末仕掛品原価	正常仕損費
円	円	円

問 2  円

問題 50

A	B

①	②	③	④	⑤

問題 51

問 1	製品 A	@	円
	製品 B	@	円
	製品 C	@	円
問 2	製品 A	@	円
	製品 B	@	円
	製品 C	@	円

問題 52

問 1  @ 円

問 2  %

## [第 1 問] 解答用紙

## 1. × 7 年 予定損益計算書(単位:千円)

	7 月	8 月
売 上 高	( )	( )
変動売上原価	( )	( )
変動製造マージン	( )	( )
変動販売費	( )	( )
貢献利益	( )	( )
固定製造費	( )	( )
固定販売費・一般管理費	( )	( )
営業利益	( )	( )
支払利息	( )	( )
経常利益	( )	( )

## 2. × 7 年 予定貸借対照表(単位:千円)

	7 月末	8 月末
流動資産		
現金	( )	( )
売掛金	( )	( )
製品	( )	( )
原料	( )	( )
計	( )	( )
固定資産		
土地	( )	( )
建物・設備	( )	( )
計	( )	( )
資産合計	( )	( )
流動負債		
買掛金	( )	( )
借入金	( )	( )
計	( )	( )
純資産		
資本金	( )	( )
繰越利益剰余金	( )	( )
計	( )	( )
負債・純資産合計	( )	( )

## 【第2問】 解答用紙

問1	万円
問2	万円
問3	万円